

令和元年度 技術・家庭（技術分野）年間授業計画

○ 技術・家庭（技術分野）の目標

（技術・家庭（技術分野）ではこんな力をつけます）

- ・作品の設計・製作，機器の操作，生物の育成などの実践的・体験的な学習活動を通して，ものづくりや生物育成の基礎的・基本的な知識と技術を身につける。
- ・情報手段の特性を生かした適切なコンピュータの利用を通して，コンピュータ活用の基礎的・基本的な知識と技術を身につけさせる。
- ・情報と生活とのかかわりや情報モラルについて理解させる。
- ・学習活動を通して，問題解決能力や創造力・合理的思考力・判断力・表現力を育成させる。
- ・生活や社会に大きく貢献している技術や技術の進展によって生じる生活環境の変化について知識・理解を深める。

○ 評価のポイントは（評価の観点ごとに）

○生活や技術への関心・意欲・態度

ものづくりや生物の育成およびコンピュータ活用等に関する技術について関心を持ち、生活をよりよくするために知識と技術を進んで活用しようとする。

○生活を工夫し創造する能力

生活と技術との関わりについて見直し、課題を見つけるとともに、その解決策を合理的に思考・判断し、技術を適切に活用して工夫し創造する。

○生活の技能

ものづくりや生物の育成およびコンピュータ活用等に必要な基礎的な技術を身につけ、その技術を安全で適切に活用できる。

○生活や技術についての知識・理解

生活や産業の中での技術の役割について理解し、ものづくりや生物の育成およびコンピュータ活用等に必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。

○ 授業の時には

準備物にはこんなものがあります

- ・教科書
- ・ファイル
- ・筆記用具
- ・体操服（ものづくり・栽培実習）
- ・長ジャージ（ものづくり）
- ・三角定規（設計）

授業中の留意点

- ①技術分野は自宅で復習することが難しい内容もあるので、授業を特に大切にしよう。
- ②やったこと・わかったこと・疑問に思ったことなどの記録が大事です。（教科書等に載っていないこともあるので、こまめにメモしよう！）

○ 家庭学習・学力向上のポイント

- ①日常生活を豊かにする『もの』について，見て触れて，そのしくみなどに関心を持とう。
- ②技術科で学習した知識や技術を家庭で生かせるよう工夫しよう。

実施時期		1 学年	2 学年	3 学年
1 学期	4 月	・技術とわたしたちの生活 ・製品の設計 (材料の特徴)	栽培 (栽培方法)	動力伝達の仕組み
	5 月	製品の設計 (機能と構造)	・情報と私たちの生活 ・栽培 (苗植え)	計測・制御の仕組み
	6 月	製品の設計 (製図)	・デジタル作品の制作 (文書作成) ・栽培 (摘芽)	フローチャートによる プログラミング (順序処理型)
	7 月	製品の設計 (作品の構想)	・情報通信ネットワーク の仕組みと利用 ・栽培 (収穫)	フローチャートによる ロボット制御 (条件繰り返し型)
2 学期	9 月	製品の製作 (けがき, 切断)	・デジタル作品の制作 (プレゼンテーション)	フローチャートによる ロボット制御 (条件分岐型)
	10 月	製品の製作 (こぐち削り, こば削り)	・デジタル作品の制作 と発表・評価 (プレゼンテーション)	プログラム言語による 計測・制御 (命令語について)
	11 月	製品の製作 (曲面の切削)	エネルギー変換の仕組み (電気回路と電子部品)	プログラム言語による 計測・制御 (順序処理型)
	12 月	製品の製作 (接合面のけがき, 下穴)	電気製品の製作 (組み立て)	プログラム言語による 計測・制御 (条件繰り返し型)
3 学期	1 月	製品の製作 (接合, 下地作り)	電気製品の製作 (組み立て)	プログラム言語による 計測・制御 (条件分岐型)
	2 月	製品の製作 (塗装・仕上げ)	機器の点検・保守	技術の評価・活用
	3 月	製作品の評価	エネルギー変換の仕組み (電気の安全な使い方)	情報社会と自己責任